

ワークショップ 「オキシトシンと自閉症」

日時：3月29日（土）13時～17時
会場：東京大学駒場Iキャンパス18号館
4階コラボレーションルーム1

- 13:00～13:30 **棟居俊夫**（金沢大学子どもこのころの発達研究センター）「自閉症の社会性障害に対するオキシトシンの効果を判定する際に生ずる困難な課題～臨床試験を担当した経験に基づく一つの考察～」
- 13:30～14:00 **高橋英之**（大阪大学大学院工学研究科）「構成論的手法によるオキシトシンの作用系へのアプローチ」
- 14:00～14:30 **北野安寿子・石原孝二**（東京大学大学院総合文化研究科）「オキシトシン関連論文に見られる「社会性の障害」理解とその問題点」
- 15:00～15:30 **綾屋紗月**（東京大学先端科学技術研究センター）「愛情か排他性かー出産直後をふりかえる」
- 15:30～16:00 **尾崎ミオ**（東京都自閉症協会）「親のエゴについて～治療とパターンリズム」



- オーガナイザー：石原孝二

cishi08@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp



入場無料・事前登録不要

18号館はオートロックがかかっていますが、12時45分から13時まで入館できるようにしておきます。これ以外の時間にいらっしゃる場合は、なるべく事前に石原までお知らせください。

JSPS 科研費
(24118502)新学術領域
「自己制御精神」公募研究
「思春期および小児期・青年期における精神疾患の治療と予防に関わる脳神経倫理学」